

一人前の学生であるための条件

東京商船大学 南川 利之

10数年前、一人前の学生であるための条件のひとつは、

(1) パソコンを持っている

であるとよく言っていました。その後、私がインターネットサービスプロバイダーに入ったとき、もうひとつ

(2) コンピューターネットワークを利用している

を付け加えました。これらの条件は、学生に対する期待を表したものです。したがって、東京商船大学がTRAINに加入できたとき、おおげさですが「これで一人前の大学になった」と思いました。

私達は論文をTeXで書き、電子メールで投稿します。論文はWWWで手に入れることができます。友人がある人に論文を請求したところ、その人のWeb pageに載せるのでダウンロードせよ、との電子メールがきたそうです。インターネットは研究上必須なものになっています。

力学の問題を解くことができなかつた学生が、WWWで他大学の学生が作った非常に良く似た問題の解答を見つけ、それを参考にして問題を解くことができたそうです。遠隔授業が広まると物理学の先生はファインマン先生一人だけで良いと言う話がありましたが、インターネットの場合はどうなのでしょう？ 誰かが良いノートを作り、それだけを全世界の人が読むようになるのでしょうか？ それとも大勢の人がいろいろな問題とその解答を作り、それらを全世界の人が見るようになるのでしょうか？ このような状況を考えると、一人前の学生であるための条件として、

(3) 自分のWeb pageを作っている

を付け加えるべきでしょう。情報を得るだけでなく、発信するようになって欲しいものです。

インターネットは今後ますます重要性が増して、インターネットなしでは生きていけないということになるのでしょうか。しかし、そのころには、一人前の学生であるための条件に、

(4)インターネットは1日に1時間しか利用しない

が加えられるのかも知れません。

TRAINは、学生が一人前になるために、不可欠のものでした。